■日漢協トピックス

第28回市民公開漢方セミナー 開催

2025年11月28日(金)、文京シビックホール 小ホールにおいて、
日漢協が主催する第28回 市民公開漢方セミナーが開催された。

「漢方ですこやかに ～毎日を楽しく健やかに過ごすために ～」
と題し、ラファ・クリニック院長の正木稔子先生にご講演いただいた。
当日は、一般聴講者178名、スタッフを含む関係者22名の計200名
の方が来場された。

まず、セミナー冒頭には、日漢協 加藤照和会長より
開会の挨拶があった。

【加藤 照和会長】

【MC・羽田沙織さん】

【会場の様子】

「漢方ですこやかに」～毎日を楽しく健やかに過ごすために ～
（ラファ・クリニック院長　正木稔子先生）

3つのテーマについて、客席に問いかけながらわかりやすく解説された。

①やさしい漢方入門
東洋医学の始まりや、日本医療の歴史における「漢方」の位置づけ、さらに漢方薬の名前に込められた意味について紹介された。

②かぜ・インフルエンザの漢方
西洋医学は「病名」、東洋医学は「状態」とアプローチの違いがあり、東洋医学ではウイルスの種類に関係なく、患者さんの状態に合わせて漢方薬を使うことができること、そしてインフルエンザにかかりにくい体にするためには、睡眠・お風呂につかる・体を冷やさないことが大事であると解説された。

【正木稔子先生】

③養生のお話
最後に、江戸時代の儒学者 貝原益軒の『養生訓』を参考に、病気にならないようにすることの大切さについて紹介された。

今年も会場ロビーにおいて、日漢協 一般用漢方製剤委員会、および生薬製剤委員会が商品の空箱展示を行った。多くの来場者が商品に関心を寄せ、熱心に説明に耳を傾けていた。

【展示の様子】